



【ワンヘルスとの関連性】

柱3:環境保護

森のキャラクターづくり



1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分でする	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
○	◎	○			◎

2 概要



英彦山青年の家周辺に落ちている枝や葉、木の実を使って、オリジナルのキャラクターを作ります。また、材料を集める活動を通して、直接自然に触れる体験ができます。

3 対象・人数

●幼児～成人 100名程度

4 活動の流れ

事前説明

道具の受け取り
手順説明・安全指導

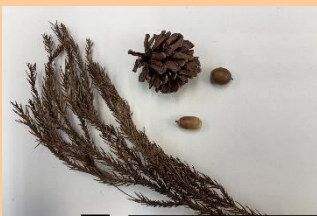
活動90分

材料収集（青年の家周辺）
※人数により時間が異なります。

作品例



使う道具

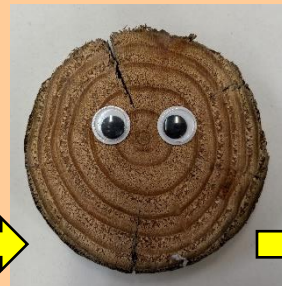


①材料を集める。

【ひとくちMEMO】
木や葉っぱにふれたり、においをかいだりして、森を感じてみよう。年輪も数えて、「この木は何歳かな？」と想像してみよう。



②やすりで削る。



③目玉シールをつける。



④グルーガンで飾りをつける。

完成！

活動後

作品の鑑賞・ふりかえり
活動場所（机の上、床）の清掃
道具の返却

【ひとくちMEMO】
目玉シールや自然物をつける位置によって様々な表情を作ることができます。

5 準備物

【青年の家】ハサミ、グルーガン

【団体】丸太、目玉シール、グルーガンの芯（ボンド）、紙やすり、袋（材料を集めるため）
※木に絵を描いたり、飾りつけたりする場合：マジック・ポスカ